地域活動支援基金活用事業

9事業に助成決定、コンクールは19公衛協が実施

北広島町、竹原市が事務局活性化事業に参加

「地域活動支援基金」活用事業は、平成二十年度にスタートし、今年で四年目を迎える。「地域活動支援基金」は地区衛生組織の実践活動に対して必要な経費を支援するために積み立てているもの。活用事業は公衛協の環境と健康をテーマとした活動を支援することで、住み良い郷土建設に貢献することをねらいとしている。

活用事業では大きく三つの事業を展開している。

一つは、公衛協が実施するコミュニティ活動に対して、財政的な支援を行う「環境と健康のコミュニティ活動助成事業」。助成方法には二種類あり、市町公衛協を対象に発展性が見込まれる活動に対して、上限五十万円を助成する「発展型」と、市町・支部・地区・学区公衛協を対象としてコミュニティづくりのきっかけとなる活動に一律十万円を助成する「導入型」がある。

今年度は、四月から募集を行った結果、発展型二件、導入型七件の申請があり、五月二十三日に開催した第二回地域活動支援基金運用委員会で審査した結果、『一部の団体は計画のさらなる具体化が必要』など条件がついたものの、申請のあった九事業すべてが採択された。

【発展型】助成額＝二十万円

『世羅町「環境と健康」環境トリップツアーの企画募集事業』（世羅町公衛協）、**助成額＝五十万円**『脱温暖化出前講座推進事業』（福山市公衛協）

【導入型】助成額一律十万円

『風呂敷でマイバッグ』（江田島市公衛協）、『実践的な公衆衛生活動の推進』（竹原市公衛協）、『環境ポスターの活用』（大崎上島町公衛協）、『北広島町笑顔で取り組む脱温暖化のまちづくり事業』（北広島町公衛協）、『子育会との協働による「ゴミステーションへの環境標語設置」（福山市道上学区公衛協）、『「学社融合」ゴーヤカーテンで温暖化を防せゴーヤ！（ふせごーや）』（福山市泉学区公衛協）『蓮池川（芦田川水系）整備・清掃活動』（福山市西深津学区公衛協）

なお、採択された公衛協は、来年二月末日までに活動を終了し、報告書を当会へ提出する。地域活動支援基金運用委員会では、これらの報告を事例集にまとめ、全県の公衛協に配布するほか、研修会などで活用する予定である。

活用事業二つ目は「環境啓発ポスター・標語コンクール」。この事業は、公衛協のテーマのひとつである学社融合の取り組みを促進することをねらいとして、小・中学生から環境啓発ポスターと標語を募集するというもの。今年度は十九公衛協の参加となった。

今年度も「地球温暖化を防ごう」をテーマにポスター及び標語の作品を募集。小・中学校から提出される作品は、各市町公衛協の一次審査で入選作品を決定する。公衛協から推薦された作品は、当会設置の選考委員会において二次審査を実施。部門別に最優秀賞、優秀賞、奨励賞を決定する。また、最優秀賞者は、十一月十日の第五十二回広島県公衆衛生大会へ招待し、大会の席上にて表彰する。入選作品は、大会の会場にて掲示するほか、当会ホームページや情報紙等でも公開する。

昨年の11月に広島県公衆衛生大会の席上で表彰された子どもたち

活用事業三つ目は「市町公衛協事務局活性化事業」。この事業は、事務局員に対する人件費など財源面での支援を行うほか、事務局員ならびに機能リーダーの力量形成を目的として研修会等を実施する。平成二十三年度は、北広島町から事務局員一名、竹原市、世羅町、廿日市市から機能リーダー一名ずつが新たに加わり、昨年度からの継続を合わせると、総勢十名がこの事業に参加することとなる。

（地域活動支援センター）

昨年度採択された助成事業で、園児たちに環境問題について紙芝居で説明（福山市泉学区公衛協）

公衛協活動研究セミナー

公衛協活動研究セミナーは、当会職員が県内各地に出向き、そのエリアの推進委員や地区会長を対象に、公衛協活動についての基礎研修や実践活動などを紹介しながら、公衛協活動を支援していくもの。本事業は今年で六年目を迎えたが、活動支援が均一に展開できない、あるいは事業へ参加する公衛協が固定化するなどの課題から、今年度は廿日市、呉の二会場を新たに加えて、全県的に展開する。セミナーのテーマや開催回数は、エリアにより異なるものの、公衛協活動概論や今年度新たに展開していくBESTチェックキャンペーンの紹介が主な内容である。**（開催エリア別テーマは左表参照）**

エリア別にテーマを設定

個別相談窓口としての機能を充実

◆北部エリア

庄原市にある〝高原の家七塚〟にて開催。定例のプログラムとして、まず自然豊かな高原の家七塚の周辺を三十分程度散策し、季節に応じた見所を観察する。その後、毎回異なるテーマで、講義や実習などを実施する。

◆東部エリア

組織の強化とリーダーの育成をねらいに、市町公衛協に限らず、学区や地区公衛協などコミュニティ単位の公衛協支援を行う。脱温暖化に向けた取り組みに高い関心が向けられていることから、脱温暖化に関する最新情報について学習するほか、重点メニューの事業説明など、情報提供や体験交流を行いながら、推進委員のスキルアップを重点的に支援する。

◆廿日市エリア

廿日市市全域と大竹市の推進委員を対象に、五月二十六日にBESTチェックキャンペーンをテーマに開催した。初めてのエリア開催にもかかわらず総勢二十二名が参加。セミナーでは、今年度新規に展開する〝一万人の食チェック事業〟や、〝広島発・瀬戸内海美化大作戦〟に対して関心が高く、実施していく上での質問や意見が多数寄せられた。

◆呉エリア

呉エリアもまた今年度新たに開催するエリアで、呉市のほか、東広島市、竹原市、大崎上島町、江田島市、熊野町、府中町、海田町、坂町を対象として参加を呼びかける。瀬戸内海に面している市町公衛協が多いことから、広島発・瀬戸内海美化大作戦やアドプトNETの事例紹介などをテーマに、十月頃に開催する予定である。

◇　◇

いずれのエリアでも公衛協活動に役立つテーマ・内容を盛り込んだ事業を紹介しながら、公衛協個別相談窓口としての機能を充実させていきたい。

（地域活動支援センター）

BESTチェックキャンペーンで手帖を手に取り説明を聞く推進委員（廿日市エリア）

公衛協活動研究セミナー開催日程

● 北部エリア（庄原市 高原の家七塚）

開催済　5月20日（金）・・・・地区衛生組織活動概論
　　6月17日（金）・・・・BESTチェックキャンペーン
　　11月22日（火）・・・・七塚万葉めぐり
　　2月24日（金）・・・・企画づくり研修

● 東部エリア（福山市 広島県環境保健協会 東部支所）

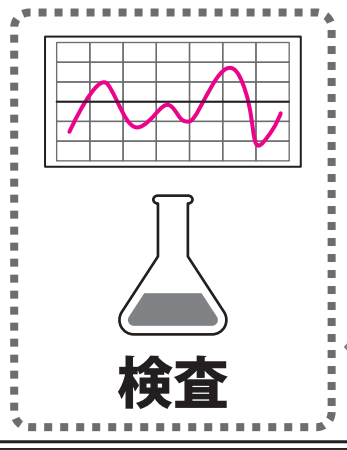
開催済　5月13日（金）・・・・地区衛生組織活動概論
開催済　6月10日（金）・・・・BESTチェックキャンペーン
　　10月14日（火）・・・・七塚万葉めぐり
　　1月20日（金）・・・・企画づくり研修

● 廿日市エリア（廿日市市 廿日市市市民活動センター）

開催済　5月26日（木）・・・・BESTチェックキャンペーン

● 呉エリア（未定）

　　10月頃予定　・・・・広島発・瀬戸内海美化大作戦など



検査

適合

不適合

相談

問題解決

再検査

水質検査のご案内

井戸水・山水などを安心してお飲みになりたい方へ

広島県では、
１年に１回水質検査を
行うことを推奨しています。

検査項目・搬入方法等詳細についてはお気軽にお電話ください　☎ 082-293-0163

HIROSHIMA ENVIRONMENT & HEALTH ASSOCIATION
財団法人 広島県環境保健協会
（水道法に基づく厚生労働大臣登録検査機関）
広島市中区広瀬北町９番１号